ここが聞きたい

佐々木　芳男　議員

次世代育成支援対策推進法と今後の少子化対策について

問 わが国の「合計特殊出生率」が、4年連続して過去最低（1・28）に至り、いよいよ人口減少時代に突入かとの報道が成された。幕別町（1・52）も微増はしているものの少子化傾向にあることは確かである。

厚生労働省は、総合的に少子化対策を進めるために2003年「次世代育成支援対策推進法」を成立、各自治体や大企業に行動計画の実施を義務付けた。

幕別町においても、その理念に則り「幕別町次世代育成支援計画」を策定しその作業に入っているが、2002年に策定された幕別町エンゼルプラン」と合わせて、今後の少子化対策として抜本的な施策が必要と考えるが、所見を伺う。

町長 合計特殊出生率が4年連続で下がり、少子化が進行することで、労働人口の減少や社会保障の負担増大などを招き、社会・経済の活力低下が心配されている。

本町では、平成14年11月に、子育て支援に関する各種施策の指針となる「幕別町エンゼルプラン」を策定し、その後、この「次世代育成支援対策推進法」に基づいて、子育て支援に関する具体的な施策を示した「幕別町次世代育成支援行動計画」を本年3月に策定し、議員の皆さんをはじめ、福祉や教育関係者に配布をした。

本計画では、「地域における子育て支援」、「母と子の健康の確保と増進」、「子どもの教育環境の整備」など7つの視点から施策の具体的目標を掲げており、本計画に基づき、各種施策を実施したいと考えている。

具体的には、今後、移転新築を予定している「さかえ保育所」にて、子育て支援センターを設置するほか、一時保育の実施や延長保育の拡大などを検討している。

また、本年度、北海道が地域住民のみんなで子育てを助け合う活動を進めるため創設した、「地域子育て力強化事業」にも取組みたいと考えている。

今後も、子育てをさまざまな観点から支援し、子育ての悩みや不安を取り除き、子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを進めたいと考えている。

高齢化社会と高齢者問題について

問 幕別町の高齢者人口が21％を超えている現実を直視するとき、高齢者問題は少子化対策と共に喫緊の課題と考えるが、如何か。

以下、5つを提言し、所見を伺う。

❶高齢者の過去と現在の働きを心に刻み、高齢者一人ひとりが誇りを以って生活できる社会を。

❷高齢者がその豊かな経験と知恵と技を生かし年齢と状態に関わりなく、自己実現のできる社会を。

❸高齢期において、誰もが心身共に健やかに生活できるよう、健康づくりを含むサービスや活動の充実した社会を。

❹高齢者それぞれの生活を大切にし、共にふれあい、支えあう誰にも優しい地域社会を。

❺相互の理解に基づき、すべての人々の人権が尊重される「エイジレス社会」を。

町長 平成15年3月に「幕別町高齢者保健福祉ビジョン2003」に基づき、各種施策を推進している。

具体的な施策としては、❶高齢者が誇りをもって生活できる社会及び❷自己実現できる社会については、その優れた知識や経験を生かしていただくための人生学博士制度を推進するとともに、食の自立支援サービスや外出支援サービスなどの生活支援事業を実施している。

❸生きがい活動支援通所事業や転倒予防事業などの介護予防事業や、介護用品給付事業といった家族介護を支援する事業などを重点的に実施している。

❹老人クラブ活動への助成および支援を行うことで、高齢者が社会参加しやすいよう支援している。

そのほか、ビジョンに盛り込んだ施策を推進することにより、❺「相互の理解に基づき、すべての人々の人権が尊重され、排除や差別のない地域文化と社会の創造」につながるものと思っている。

なお、「幕別町高齢者保健福祉ビジョン2003」については、本年度、3年ごとの見直しの年となっており、次期計画策定にあたっては、佐々木議員からのご提言も充分参考にし、事業内容の充実を図り、高齢者が健やかに安心して住み慣れた地域で、自立した生活が送れるよう努めたいと考えている。

幕別町人生学博士認定式の様子